

商学部 第二部

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

商学部および商学部第二部は、人材養成の目的を達成するために、次のような意欲を持った学生を広く受け入れます。

1. 地域に根差したニュービジネスリーダーを目指す人
2. 人間性豊かなマネジメントリーダーを目指す人
3. ビジネスマインドを持った国際教養人を目指す人
4. 働きながら商学を学びキャリアアップを目指す人

また、その受け入れに当たっては、次のような点を特に重視します。

1. 日本と世界の経済・社会問題に興味・関心を持ち、これらに関する幅広い知識を備えていること
2. 自らの関心や意見を言葉や数字などを使って的確に表現できること

さらに、商学部および商学部第二部での学修のためには、高校までの課程で、次のような点に留意して、勉学に励むことが求められます。

1. 高等学校で基本とされる教科を幅広く、着実に学んでいること
2. 現代社会およびその他の社会科の科目（地理や世界史、日本史、政治・経済）を深く学んでいること、基礎的な数学の力および語学力を身につけていること
3. 商業系の高校やコースでは、簿記・会計やマーケティング・商業などの基礎をしっかり学んでいること

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学教育 4 年間の中で、商学の専門的知識、理論および実務能力、問題発見・解決の能力を身につけると同時に、グループで問題解決に当たるためのコミュニケーション能力、集団の中での主体性と協調性を高めることが必要です。これらの能力を身につけるために、商学部および商学部第二部では、次のようにカリキュラムを編成します。

1. 1 年次には「基礎ゼミナール」や各学科の入門科目を配置し、新入生が高校までの学習から大学での学修へとスムーズに移ることができるよう工夫します。





2. 専門科目については、1年次に入門科目、2年次以降には様々な応用科目を配置し、学生が商学に関する学修を体系的に進めることができるようカリキュラムを組めます。
3. 所属学科以外で開講されている専門科目を幅広く学修したい学生のために、一定の範囲内で他学科・他学部の専門科目も履修できるよう配慮します。
4. 少人数の学生が主体的に学ぶ「ゼミナール」を全学科および全学年にわたって設置し、学生が商学の知識を深め、問題発見・解決能力やコミュニケーション能力を更に高めることができるような教育システムを整備します。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 商学の専門的知識、理論および実務能力を修得し、それらを用いて自ら問題を発見し解決する力
2. 修得した知識や能力を実社会で生かすコミュニケーション能力
3. 社会の一員としてその発展に貢献するために、主体的かつ協調的に行動する力

